

有限会社ツノダ塗装 殿

東和酵素株式会社

報告者 重田和麻

ミタゲンクリアー報告書

貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

11月12日に採水した貴社ブース循環水の状況をご報告致します。

敬具

1. ブース循環水の状況

	pH	粘度 (秒)	有効菌数 (ミタゲン菌)
塗装ブース	7.4	7.3	1ml当り 0.8×10^5
【弊社推奨値】	6.0~8.5	7秒台	1ml当り 1.0×10^5 以上

※水粘度はNK-2型の粘度カップを使用しています。

2. 所見

サンプル水測定の結果、循環水のpH・粘度は至適範囲内の数値を示しており、ミタゲン菌の繁殖に適した環境になっております。

顕微鏡観察の結果、フロックが確認できることから、ミタゲン菌の繁殖に適した環境が保持され、ブース水の浄化がなされていることが伺われます。

ミタゲン菌は好気性菌のため、十分に活性化するためには適切な溶存酸素が必要となります。バイオブースにおいてはスラッジが蓄積すると、循環水量が減少するとともに溶存酸素の総量も減少してしまい、浄化効率が著しく低下します。バイオ処理を効率よく行うためには、水槽内に溜まったスラッジは出来るだけこまめに除去して頂き、適正な量を維持する必要がありますので、日々の管理を引き続きよろしくお願い致します。

塗装ブースは菌の生息にとって厳しい環境にあり、ミタゲン菌も徐々にダメージを受けて活性力が衰えてしまいます。定期的にミタゲンクリアーを投入することで活性力のあるミタゲン菌が確保され、安定したバイオ処理を行う事が出来ますので、菌の補給投入も併せてお願いいたします。

塗装ブース循環水の顕微鏡観察状況

撮影日：11月18日

サンプリングしましたブース循環水の状況についてご報告致します。

倍率 400倍
生物相
ミタゲン菌のフロック 遊離バクテリア スラッジ

